



41 神坂雪佳、神坂祐吉《歌絵蒔絵重硯箱》

大正八年（一九一九）

蒔絵

二七・二 × 二八・九 × 一七・四

五段重ねを二列に並べた十合の硯箱で、それぞれに硯と水滴、筆が納められている。蓋表から側面にかけて、薄肉高蒔絵で老松とタンチョウを描き、歌文字を散らして『古今和歌集』より「万世を松にぞ君をいはひつる千年のかけに住まむと思へば」の歌絵を表している。大正八年の皇太子（昭和天皇）の成年式に際して、大正天皇より文台とともに贈られた品である。



- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

鳥の楽園 — 多彩、多様な美の表現

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 68

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

平成二十七年三月二十一日発行

© 2015, The Museum of the Imperial Collections, Sanmonaru Shozokan